

ユニット名	絵本サークルおはる文庫
代表者	西谷悠花
達成に資するSDGs目標	1 貧困をなくそう 2 飢餓をゼロに 3 すべての人に健康と福祉を 4 質の高い教育をみんなに 5 ジェンダー平等を実現しよう 6 安全な水とトイレを世界中に 7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに 8 働きがいも経済成長も 9 産業と技術革新の基盤をつくろう 10 人や国の不平等をなくそう 11 住み続けられるまちづくりを 12 つくる責任つかう責任 13 気候変動に具体的な対策を 14 海の豊かさを守ろう 15 陸の豊かさを守ろう 16 平和と公正をすべての人に 17 パートナリーシップで目標を達成しよう
活動概要	4月：新入生歓迎会、イベント準備、絵本に関するワークショップの実施 5月：松江市役所新庁舎オープニングイベントの出店 10月：学際の出店 【その他通年の活動】 ・絵本作り(特に4「質の高い教育をみんなに」の達成に繋げる) →大学での学びを絵本形式でまとめる、SDGsに関する絵本作り、小中学生や高校生に向けた教材絵本作り、廃材やフェルト等を活用した絵本作りなどを実施予定。作品はSNSや大学祭で公表予定。 ・絵本の読み聞かせ ・絵本紹介 →SNSでの情報発信を行う。どの年代も楽しめるよう、様々な絵本を紹介する。SDGsに関連する絵本の紹介も積極的に行う。 ・絵本に関するワークショップの企画運営 ・絵本のRe-Use市の実施
主な連携先 (予定を含む)	城北公民館、キッズキッチンじょうほく、すみれ食堂……等
成果物の公表予定、 社会への波及効果	○成果物の公表予定 ・Instagram等SNSを活用し、制作した絵本、紹介したい絵本、ワークショップ等で完成した作品、その他活動の記録を発信する。 →SNSで公表することで、大学内にとどまらず様々な人が、書店等を訪れなくても気軽に閲覧できるようにする。 ・大学祭等で、制作した作品や既製の作品、ワークショップ等で完成した作品等の展示、ワークショップの実施を行う。 →完成品を見てもらうだけでなく、ワークショップといった体験型の活動も紹介することで、絵本を通してSDGsに親しんでもらうこと、コミュニティ形成等を目指す。また、デジタルのみでの公表ではない形にすることで、仕掛け絵本なども楽しんでもらえるよう工夫する。 ○それぞれの活動の意義 ・絵本作り(特に4、12) →大学での学びを絵本形式でまとめる、SDGsに関する絵本を作る、小中学生や高校生に向けた教材絵本を作る、などの活動を通し、特にSDGsの目標4の達成を目指す。また、廃材やフェルト等を活用した絵本も作成し、SDGsの目標12の達成も目指す。作品はSNSに掲載し、書店等に行かなくても多くの人が絵本に親しめるようにする。加えて、絵本という形式を取ることで、小説などに苦手意識のある人にも気軽に親しんでもらうことを目指す。また、すべてのSDGsのゴールに関する絵本の制作を目指し、SDGsについての情報発信や理解度向上に努める。 ・絵本の読み聞かせ(特に4) →子どもの言語能力向上や、読書への好奇心を養うこと、コミュニティ形成を目指す。すべてのSDGsのゴールに関する絵本をそれぞれ用意し読み聞かせることで、SDGsについての情報発信や理解度向上に努める。 ・絵本紹介(特に4) →SNSでの情報発信をすることで、書店等に行かずに絵本に親しむこと、大学外の人にも見てもらうことができるよう工夫する。どの年代も楽しめるよう、様々な絵本を紹介する。すべてのSDGsのゴールに関する絵本をそれぞれ紹介し、SDGsに関する情報発信や理解度向上に努める。 ・絵本に関するワークショップの企画運営(特に4、12) →コミュニティ形成や、読書に親しむきっかけ作りを目的とする。廃材等を活用した絵本作り等もワークショップで行い、SDGsの目標12の達成も目指す。 ・絵本のRe-Use市の実施(特に4、12) →多くの人が絵本を読むことができるきっかけを作る。絵本を譲りたい、という人が、絵本を捨てることなく必要としている人の手に絵本を渡すことのできる場を目指す。